

Made in UK



ガール

M73

特許取得済み
3年保証

280g

CE 0120

EN 362
EN 12275 type K/B/H
ANSI Z359.1-1992

16kNでのテスト済み



警告

この製品を使用する高所作業には危険が伴います。作業中の行為、判断についてはユーザー各自がその責任を負うこととします。

この製品は、高所作業に伴う危険について理解し、承知の上で使用してください。

使用する前に必ず：
- 取扱説明書をよく読み、理解して取
- この製品の機能とその限界について理解してください

また、この製品を正しく使用するための適切な説明や指導を受けることを勧めます。

これらの注意事項を無視または軽視すると、重度の傷害や死につながる場合があります。



3 1342540 031074



www.petzl.com



40 kN



10 kN



12 kN



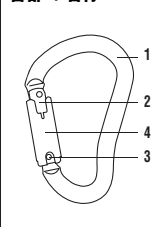
77 mm



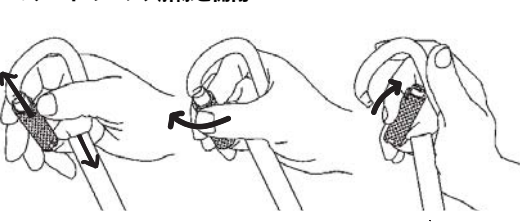
120 mm

23,5 mm

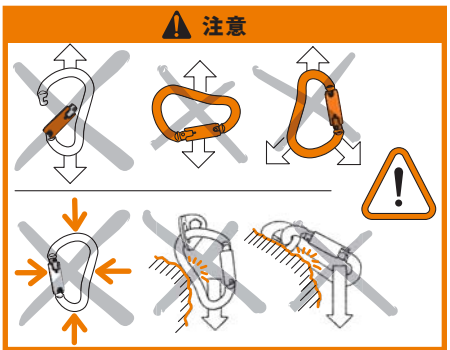
各部の名称



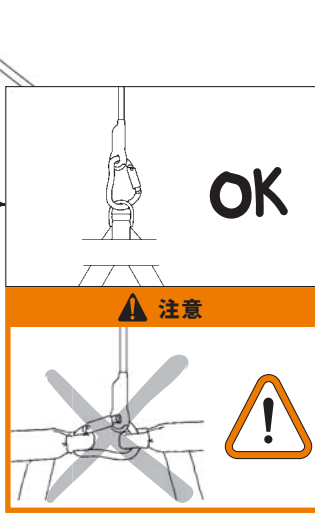
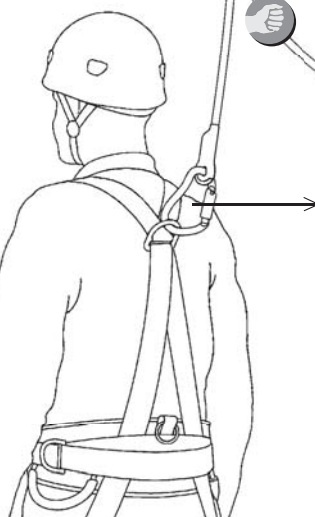
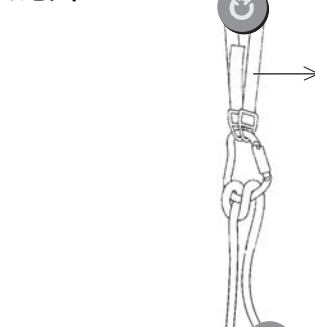
1. ゲートのロック解除と開閉



2. 注意点



3. ビレイ



重要な注意事項

ここでは、この製品特有の注意および説明事項のみを掲載しています。この製品に関するその他の情報は、裏面に記載されている一般注意事項を参照ください。ここにある説明と一般注意事項を必ず良く読み、理解したうえで製品をご使用ください。

ANSI インフォメーション

ANSI(アメリカ規格協会)

Z359.1-1992 基準に基づいてこの製品を使用する際の必要条件

この製品は、取扱説明書と共にユーザーの手に届かなければなりません。この製品が、製品を使用する地域や産業別の労働安全衛生に関する規制や基準に適合していることを確認してください。

パーソナルフォールアレストシステム (PFAS) に使用する支点は、システムの構成上荷重が想定される全方向に静荷重で少なくとも以下の強度が求められます：

- (a) ANSI 認証済の支点の場合 3,600lbf(16kN)
- (b) ANSI 認証のない支点の場合 5,000lbf(22,2kN)

支点に関する ANSI 基準の詳細については、ANSI Z359.1 を参照ください。

複数以上の PFAS を 1 つの支点に連結する場合、その支点には連結する PFAS の数を上記 (a)、もしくは (b) それぞれに掛けた強度が必要となります。

詳しくは、ANSI Z359.1, セクション 7.2.3. を参照ください。

使用中の個人保護用具 (PPE) に干渉する可能性のある可動型の機械類からは十分な距離を取り、安全を確保してください。

ユーザーは、この製品の使用中に困難な状況に直面した場合に備え、レスキュープランとそれに必要となる装備を携行しておく必要があります。

この製品は、湿気や化学薬品、その他劣化を促進する可能性のある物質を避け、涼しく清潔で乾燥した場所に保管してください。

ANSI Z359.1, セクション 3.2.1.4. の定めるゲートに最低限必要とされる強度は：

横方向への荷重テスト：7kN
縦方向への荷重テスト：23kN

取扱説明

ダブルオートロックング スチールカラビナ

コネクター (EN 362)

ロックングカラビナ (EN 12275)

タイプ K (ゲイアテータ)、B (base)、H (イタリアンヒッチでのビレイ)

ANSI Z359.1-1992. 基準適合

この製品は、コネクターとして PFAS、ワークポジショニング、レストレインおよびレスキューシステムに使用できます。

各部の名称

- (1) フレーム (2) ゲート (3) ヒンジ (4) ロックングスリーブ (5) キーロック

主な素材：スチール

毎回、使用前に、フレームとゲート、およびロックングスリーブに亀裂や変形、腐食等がないことを確認してください。

ゲートがスムーズに最後まで開くことを確認してください。ゲートを開けて放すと、ゲートが閉まりロックされることを確認してください。

PPE の製品別の詳しい点検方法については、ウェブサイト (www.petzl.com/ppe) または『PPE CD-ROM』を参照ください。

もしこの製品の状態に関して疑問点があれば (株) アルテリアにご相談ください。

古くなった用具を処理する際は、以後使用されることを避けるため破棄してください。

使用方法

適合性

カラビナの形やサイズ等が、連結する用具との併用に適合していることを確認してください。

適さない用具に連結した場合、カラビナが偶発的に外れる、または壊れるといった危険性があります。もしこの製品の適合性に関して疑問

点があれば (株) アルテリアにご相談ください。

図 1. ゲートのロック解除と開閉

図 2. 注意点

カラビナは必ずゲートがロックした状態で使用してください。

ゲートが開いていると、カラビナの強度は著しく減少します。

ゲートを手で内側に向けて押し、ゲートが開かず、正しくロックされていることを確認してください。

ゲートが正しくロックされているか常に確認してください。自動的にロックされない場合は、ロックングスリーブを手で回してロックしてください。

泥や砂、ペイント、氷、汚水等は「トライアクト」オートロックングシステムの機能を損なう危険性があります。

カラビナは、ゲートが閉じた状態で縦軸方向に最大の強度があります。

縦軸方向以外に荷重がかかると強度は激減します。

使用中にカラビナの動きが妨げられないようにしてください。何かの角で荷重がかかったり、外部からの圧力がかかると危険です。

図 3. ビレイ

ビレイには必ずロックングカラビナを使用してください。

図 4. 警告、死の危険

下降器等により、ゲートに外部からの圧力がかかると危険です。ロックングスリーブが壊れ、ゲートが開き、用具やロープがコネクターから外れる危険性があります。

作業で使用する場合の注意事項

システム用の支点はユーザーの体より上にとり、EN 795 基準を満たしていなければなりません。

